

沖縄総合事務局で初めてとなる「建設キャリアアップ システム（CCUS※）活用推奨モデル工事」を実施

記者発表資料

「令和3年度小禄道路橋梁下部工（P18、P19）工事」及び
「令和3年度恩納 BP7 号橋下部工（下りA1、P1）工事」に
おいて試行します。

受注者が建設キャリアアップシステム（CCUS）の活用の
取組を希望した場合に指標毎の目標基準の達成状況に応
じて工事成績評定点に加点を行います。

※別添「建設キャリアアップシステムの概要」参照

○工事概要

令和3年度小禄道路橋梁下部工（P18、P19）工事

入札予定時期（第2四半期） RC橋脚工・仮設工

令和3年度恩納BP7号橋下部工（下りA1、P1）工事

入札予定時期（第4四半期） 道路土工・RC橋脚工・橋台工・仮設工

令和3年7月1日
沖 縄 総 合 事 務 局

記者発表

沖縄総合事務局記者クラブ

【CCUS活用推奨モデル工事の試行に関する問い合わせ先】

内閣府沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課 TEL：098－866－1904（直通）

課長 宮城 一正 （内線3311）

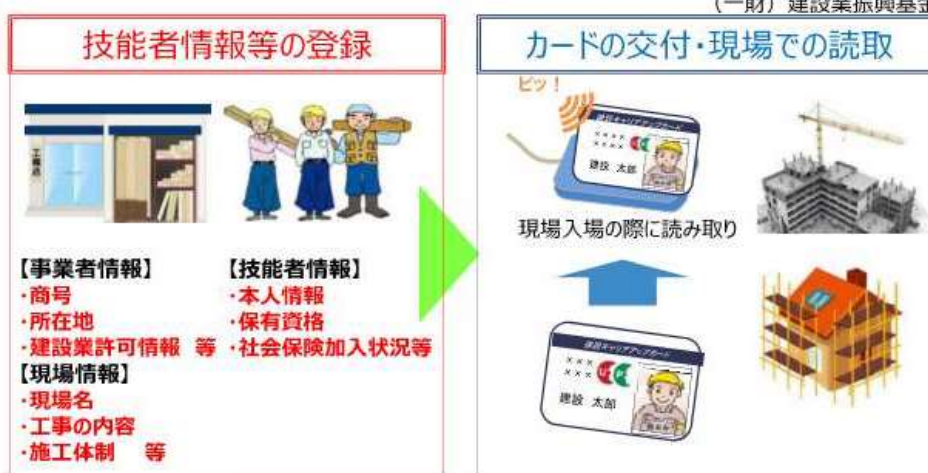
課長補佐 森山 正三 （内線3283）

建設キャリアアップシステムの概要

- 「建設キャリアアップシステム」は、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する仕組み
- 若い世代にキャリアパスと処遇の見通しを示し、技能と経験に応じ給与を引き上げ、将来にわたって建設業の担い手を確保し、ひいては、建設産業全体の価格交渉力を向上させるもの
- また、労務単価の引き上げや社会保険加入の徹底といった、これまでの技能者の処遇改善の取組をさらに加速させるもの

<建設キャリアアップシステムの概要>

※システム運営主体
(一財) 建設業振興基金



CCUS活用推奨モデル工事(試行)の概要

1. 試行内容

受注者が工事着手前に発注者に対して建設キャリアアップシステム(CCUS)の活用に取り組む旨を希望した場合は、下表のとおり3つの指標(以下、「3指標」という)の最低基準及び目標基準を指定し、指標の取り組みの達成状況に応じて工事成績評点において加点を行います。

指標	最低基準	目標基準
平均登録事業者率	70%	90%
平均登録技能者率	60%	80%
平均就業履歴蓄積率	30%	50%

2. 施工段階

受注者が工事着手前に発注者に対してCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、特記仕様書に定めた時期に、受注者から3指標の取り組み状況の報告を求めます。

3. 工事成績評定(工事完成検査／成績評定時)

受注者が工事着手前に発注者に対してCCUSの活用に取り組む旨を希望した場合は、下記のとおり3指標の達成状況に応じて工事成績評点で加点を行います。

① 受注者が3指標全てにおいて目標基準を達成した場合は1点加点

⇒ 考査項目別運用表「5. 創意工夫」「その他」で加点

② 上記①に加え、平均登録技能者率90%以上を達成した場合は同考査項目でさらに1点加点(①と②で合計2点加点)

なお、受注者が3指標いずれかにおいて最低基準を達成しなかった場合は、工事完成検査終了後に受注者から工事名、未達成の項目、要因及び改善策の報告を求めます。